

## 尾張西支部

### AED救急救命講習会



挨拶する新家支部長

尾張西支部（新家義彦支部長）は2月16日（火）午後1時から稲沢市民会館会議室（稲沢市正明寺）において、AED救急救命講習会が参加者18名のもと開催し、講師として稲沢市消防署 稲沢東分署 消防第2グループ 澁谷洋介氏、佐藤大輔氏をお招きしました。

開会の挨拶で新家支部長は「本日の講習会は、昨年来愛産協で推進しておりますBCPの一環として、AEDを使用して救急救命の講習を行う運びとなりました。特にAEDの処置を行う時には十分な知識が必要であるため本日の講習で是非習得してください。」と述べました。

講習会は、澁谷職員の司会進行のもと進められ、動画を見て手順を確認して、人形を使い動作の実践確認を行うため、とても覚えやすい流れが生まれ、グループに分かれた4組の全員が実践体験を行うことができました。

#### ■心肺蘇生法の手順

- 1. 反応（意識）を確認する。  
「大丈夫ですか」と大声で呼びかける。
- 2. 助けを呼ぶ。  
周囲へ助けを求め、119番へ通報
- 3. 呼吸の確保  
普通とおりの呼吸をしているか判断する。
- 4. 胸骨圧迫  
重ねた両手で「強く、速く、絶え間なく」圧迫
- 5. 人工呼吸
  - ①気道確保
  - ②人工呼吸（30回胸骨圧迫終了後、口対口人工呼吸を2回）
- 6. 心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）の継続  
胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ（30:2）を、救急隊に引き継ぐまで絶え間なく行う。重ねた両手で胸骨圧迫の実習



#### ■AEDの使用手順

- 7. AEDの到着と準備
  - ①AEDの電源を入れる。
  - ②電極パッドを貼る。
- 8. 心電図の解析  
AEDの音声メッセージに従う。
- 9. 電気ショック  
周囲の人に傷病者から離れるように伝え、点滅している通電ボタンを押す。
- 10. 心肺蘇生の再開  
電気ショックの後は、ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生（30:2のサイクル）を開始
- 11. AEDの手順と心肺蘇生の繰り返し  
AEDは2分おきに自動的に心電図の解析を行うので、そのつど音声メッセージに従う。

特に人工呼吸のとき口対口に抵抗がある場合は、胸骨圧迫を続けても良いとのアドバイスがあり、初



機器を使ってAEDの実習

心者でも抵抗なく処置ができるような解説は深い理解につながりました。各グループでは講師への質問が多く、ペースメーカーの方や妊婦さん、小さなお子さんへの処置など、AEDを貼る位置や電圧の下げ方など具体的な指導が行われました。

#### ■参加者の感想

- 女性Aさん：この講習会はとてもためになりました。思っていたより力が必要だと感じ、実践に即した経験が良かったです。
- 女性Bさん：頭で考えるのと実際体験してみるのとでは違い、緊急時に活かしたいと思います。素早い対応が蘇生につながるの、他の方にも是非受講を勧めます。
- 男性Cさん：たいへんためになりました。突然救急救命を行おうとしてもうまくできないと思うので、このような機会は必要だと感じました。
- 男性Dさん：従業員が70数名在職している現在、緊急時に遭遇した場合に活かされると思いました。とても良かったです。